

FDセンター主催 3キャンパス合同 FD研修会を開催しました

山内太地氏は、本学のFD研修会へは、昨年度に続き、2度目のご登場です。昨年の出雲キャンパスFD研修会は大盛況に終わり、今回はFDセンター主催（3キャンパス合同）のFD研修会として、再びお越し頂きました。現在の高校生の偏差値と就職の実態、大学入試センター試験廃止後の新たな大学入試制度の導入によって大学や大学教員に何が求められるようになるのか、最近の高校教育の実践例も示していただきながら、今後の大学教育の方向性について考える機会となりました。



研修会中に1人最低1つの質問を考え、研修会後半30分は皆が挙手して質問をする質問タイムが設けられました。活発な質疑応答が繰り広げられました。



【実施概要】

日 時：平成 28 年 4 月 19 日（火）16:30～18:00

場 所：島根県立大学出雲キャンパス 北会議室

内 容：講師 山内太地 氏（一般社団法人大学イノベーション研究所 所長）

テーマ：「高校生の未来に向けての進路指導

～入試制度改革を見据えて大学ジャーナリストの立場から～

【実施結果】

(1) 参加者 31名（教員22名、職員9名）

①出雲キャンパス 27名：教員21名（参加率72.9%）、職員6名（参加率76.2%）

②浜田キャンパス 4名：教員1名、職員3名

(2) アンケート結果 回収29名：教員20名、職員9名（回収率93.5%）

①講演についての満足度・・・満足した 93.0%

②講演の理解度・・・理解できた 93.0%

③講演の今後への活用・・・役立つ 90.0%

自由記載内容（抜粋）

- ・新入試制度の課題を分かりやすく説明していただき、より質の高い教育と、人間力を判定する入試に対応が求められていることを理解できた。
- ・学生が自ら学び、想像力や判断力を高める授業を工夫して考えていく必要があると思う。今の大学の授業内容はとても密であり、多々難しいことであると思うが、授業の中で工夫していきたい。
- ・能動的に学ぶことがいかに重要か、就職データで目に見えて数値化されていたので理解しやすかった。